

昭和63年度支部総会報告 (1)

場所：九州電力㈱ 第2別館会議室

議題：

九州支部

1. 昭和62年度事業報告

(1) 一般活動報告 (表1)

日時：昭和63年4月26日(火) 15:30~19:30

表 1

	日 時	場 所	参加 人員	テ ー マ	講 師
会 議	62年5月19日	九 電	10	62年度活動方針案の作成 (幹事会)	
	"	"	6	" (運営委員会)	
	5月29日	"	18	支部総会	
講演会	5月29日	"	18	ソフト思考の経済政策	九州大学 経済学部 教授 山崎良也
見学会	8月7日	糧友福岡㈱	13	パン製造工場の見学	
研究会	9月10日	九 電	19	最近の人工知能の研究	西南学院大学 商学部 助教授 吉武春満
"	"	"	"	福岡一平尾間連続立体交差事業の概要	西日本鉄道㈱ 電車局建設事務所工事課長 下川智也
講演会	"	"	"	最近の企業内ネットワークの動向について	NTT九州総支社 企業通信システム営業部部長 横山宏一
研究会	11月27日	住金㈱	22	混練作業の要員検討について	黒崎窯業㈱ 八幡製造所技術部能率室室長 早川隆久
"	"	"	"	LANの形態およびプロトコルとその特性解析	九州大学 経済学部 助教授 時永祥三
パネルディスカッション	"	"	"	企業内のネットワークの現状と将来について	住友金属工業㈱ 生産管理部システム室参事補 石井英俊 東陶機器㈱ 情報システム部次長 清未義和 新日本製鉄㈱ 八幡製鉄所技術部能率室 糸永真一
研究会	63年2月18日	九 電	25	読唇の工学的アプローチとその応用	九州工業大学 工学部 助教授 松岡清利
"	"	"	"	社会システムについて	日本電子計算㈱ 課長代理 秋本涼太郎
パネルディスカッション	"	"	"	企業内ネットワークの現状と将来について	九州電力㈱ 情報通信部課長 桜井 隆 西日本鉄道㈱ 情報システム部部長 吉村博之 ㈱安川電機製作所 技術開発センター室長 瀬々浩俊
その他				支部ニュースの発刊 (4回)	

(2) 会員の増減

() 内は昭和62年3月現在の数である。正会員 120名

昭和63年2月現在の会員数は次の通りである。なお、

(106名), 学生会員6名(9名), 賛助会員8社(8社)

2. 昭和62年度会計報告

一般会計

(単位：円)

収 支	項 目	予 算 額	決 算 額
収 入	前年度からの繰越金	724,010	724,010
	本部交付金(年間会費)	371,000	371,000
	" (講演会)	18,000	18,000
	利息	35,000	8,797
	その他	0	8,881
	合 計	1,148,010	1,130,688
支 出	会議費(総会)	120,000	68,400
	運営会議費	40,000	15,600
	幹事会議費	60,000	20,000
	研究活動費		
	研究会費(含講演)	163,000	84,300
	見学会	30,000	0
	通信運搬費	110,000	105,900
	消耗品費	10,000	3,200
	その他	5,000	2,000
	合 計	538,000	299,400
残 高	次年度への繰越金	610,010	831,288

3. 昭和63年度事業計画

日 時	活動内容および担当
63年4月26日(火)	総会, 講演会(ゼンリン)
8月	見学会(西部ガス)
9月	研究会(新日本製鉄, 九州産業大学), 講演会(西南学院大学)
11月	研究会(住友金属工業, 西南学院大学) パネルディスカッション(新日本製鉄, 住友金属工業)
64年2月	研究会(九州電力, 九州大学), パネルデ ィスカッション(九州電力, 安川電機)

注 (1)パネルディスカッションのテーマ：企業内のA I
的アプローチについて
(2)次年度は他学会との共同研究会について検討する

4. 昭和63年度予算

収 支	項 目	予 算 額
収 入	前年度からの繰越金	831,288
	本部交付金(年間会費)	361,600
	" (講演会)	18,000
	利息	15,000
	合 計	1,225,888
支 出	会議費(総会)	120,000
	運営会議費	30,000
	幹事会議費	40,000
	研究活動費	
	研究会費(含講演)	150,000
	見学会費	10,000
	通信運搬費	110,000
	消耗品費	10,000
	その他	5,000
	合 計	475,000
残 高	次年度への繰越金	750,888

5. 昭和63年度 支部役員

支部長 児玉正憲

副支部長 藤野義一, 小田健太郎

支部運営委員 須永照雄, 古川長太, 岩本誠一, 山川
典宏, 村上周太, 乾 全, 大口正樹, 野村 武, 横
山清, 清原和也, 松尾俊彦

支部監事 浜田和樹, 阿南信博

中国・四国支部

日時：昭和63年4月22日(金) 11:00~

場所：中国電力棟

議題：

1. 昭和62年度事業報告

(1) 総会 1回

日時：昭和62年4月24日

場所：中国電力棟

議題：昭和61年度事業・決算報告, 昭和62年度支部役
員選出, 昭和62年度事業・予算計画

(2) 役員会 1回

日時：昭和62年4月24日

(3) 幹事会 3回

日時：昭和62年3月24日, 4月24日, 12月4日

(4) 講演会 3回(内, 定例講演会1回)

①日時：昭和62年7月17日

場所：中国電力棟

演題：「スケジューリング理論は役に立つか」

講師：石井博昭氏(大阪大学 工学部)

②日時：昭和62年11月13日

場所：中国電力棟

(i)演題：「分類型エキスパートシステムの開発」

—ソフトウェア常識集 I R システムへの適用—

講師：橋本 肇氏(日立製作所)

(ii)演題：「計画型エキスパートシステムの開発」

—厚板出荷沿岸作業計画への適用—

講師：山川栄樹氏(川崎製鉄)

(iii)演題：「エキスパートシステムに期待するもの」

講師：鈴木道夫氏(電力中央研究所)

③日時：昭和63年2月22日(月) 13:00~15:00

場所：マツダ棟

演題：「在庫管理における階層多目的意思決定支援システムについて」

講師：野村淳二氏（松下電工機総合技術研究所）
（OR学会定例講演会）

- (5) 対話型OR研究会
研究会 11回
- (6) エキスパート・システム研究会
研究会 20回
- (7) 見学会 1回
日時：昭和62年4月24日
場所：中国電力機
内容：本館総合OAの見学
- (8) 第8回数値計画シンポジウム開催協力
日時：昭和62年11月5日，11月6日
場所：中国電力機本館2階 大会議場

2. 昭和62年度会計決算報告書

- (1) 収支決算書 自 昭和62年3月1日
至 昭和63年2月29日

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	319,000	337,000	定例講演会 費含む
預金利息	1,000	860	
その他	0	0	
(1)合 計	320,000	337,860	
(支出の部)			
会議費	50,000	51,265	
講演会費	100,000	82,900	
研究会費	100,000	0	
研究懇談会費	50,000	0	
研究部会費	100,000	98,950	
見学会費	50,000	0	
通信費	50,000	48,600	
印刷費	50,000	25,000	
通務費	90,000	57,000	
雑費	40,000	29,060	
予備費	458	0	
予備費	22,000	0	
(2)合 計	702,458	392,775	
(3)当期運営残高		△54,915	(1) - (2)
(4)前期繰越金		382,458	
(5)次期繰越金		327,543	(3) + (4)

- (2) 貸借対照表 昭和63年2月29日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現預金(1)	28,915	前期繰越金	382,458
	298,628	当期運営残高	△54,915
合 計	327,543	合 計	327,543

- (1) 広島銀行 西条支店

3. 昭和63年度事業計画

- (1) 総 会 1回
(2) 役 員 会 若干回
(3) 幹 事 会 若干回
(4) 講 演 会 4回
(5) 研 究 発 表 会 3回
(6) 研 究 懇 談 会 2回
(7) 研 究 部 会 若干回
(8) 春季研究発表会実行委員会 若干回
(9) 会 員 増 強 活 動
(10) そ の 他

4. 昭和63年度予算

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	327,543	会議費	50,000
本部交付金	357,000	講演会費	100,000
預金利息	500	研究会費	50,000
		研究部会費	200,000
		見学会費	50,000
		通信費	50,000
		印刷費	50,000
		通務費	90,000
		雑費	40,000
		雑費	43
		予備費	5,000
合 計	685,043	合 計	685,043

5. 昭和63年度支部役員

支部長 榎藤 元

副支部長 貝川健一，梶田賢作，広瀬圭介

支部評議員 青木兼一，石田徳孝，尾崎俊治，佐伯祐治，佐藤洋一，住山哲夫，成久洋之，浜岡 尊，湊晋平

支部監事 増本借二，和田 弘

支部幹事 井塚滋夫，海生直人，金川一夫，神川正博，久保田洋志，桑原兵二郎，尾崎正亮，鳥居 裕，奈良宏一，平木秀作，松富達夫，光藤 昇，山田 茂

関 西 支 部

日時：昭和63年4月23日(土) 14:00~17:00

場所：大阪国際サイエンスクラブ

議題：

1. 昭和62年度事業報告

(1) 総会・記念講演会の開催

日時：昭和62年4月17日

場所：中央電気倶楽部

記念講演

「企業における多目的問題とその解決方法について」

野村淳二氏（松下電工㈱・総合技術研究所 主査）

昭和60年度日本OR学会事例研究奨励賞受賞

「因子分析をめぐって」

丘本 正氏（大阪大学名誉教授・追手門学院大学教授）

総会議題

- 1) 昭和61年度事業報告・決算
- 2) 昭和62年度事業計画案・予算案
- 3) 支部役員改選
- 4) その他

(2) 研究講演会の開催

第1回 昭和62年10月9日

1) 「多重連鎖マルコフ決定過程について」

大野勝久氏（名古屋工業大学）

2) 「Optimal Selection Problem に関する話題について」中井 達氏（神戸大学）

第2回 昭和62年11月4日

1) 「Some Work on Nonlinear Programming Done by Chinese Workers」

呉 方氏（中国科学院応用数学研究所）

2) 「Some Gradient Projection-Variable Metric Algorithms」

頼 炎連氏（中国科学院応用数学研究所）

3) 「Apportioning Representation（議員定数問題）」Michel L. Balinski 氏（Ecole Polytechnique, Paris）

第3回 昭和62年11月21日

1) 「囚人のジレンマ型ゲームをめぐって」

阪井節子氏（甲子園大学）

2) 「A Survey of the Bandit Problems」

浜田年男氏（姫路短期大学）

第4回 昭和63年2月13日

1) 「図書館情報システム」

片山益男氏（兵庫県立姫路短期大学）

(3) 研究部会の開催

1) 応用確率論研究部会

京大会館，神戸大学工学部，大阪大学工業会館，関西大学工業技術研究所，姫路短期大学を会場に年5回の例会（発表件数12件）を開催。例会出席者は15～30名。

2) 経営科学文献情報検索研究部会

大阪経済大学，神戸商科大学等を会場に，年5回の例会を開催し，部会のメンバーが適宜集まって討論を重ねた。OR関係文献のデータベース作成と情報検索システムの構築という目標のもとに進めてきたが，目にみえる成果を見ないまま経過した。2年間にわたる討論は実り豊かなものであった。

3) 決定理論とその応用研究部会

大阪大学工業会館，OBPツインビル，大阪大学基礎工学部，中央電気倶楽部を会場に，年8回の例会（発表件数16件）を開催。例会出席者は20名前後。

4) 最適化とその周辺研究部会

神戸市勤労会館，帝人ビル，京大会館，住友ビル，京都大学工学部，関西大学工業技術研究所，㈱C S K大阪支店を会場に，年10回の例会（発表件数21）を開催。例会出席者は15～30名。

(4) 見学会の開催

日時：昭和62年11月25日

見学先：NTT情報文化センター

講演：「高度情報社会と経営戦略」

押田榮一氏（NTT情報文化センター長）

参加者：16名

2. 昭和62年度決算報告

(1) 収支計算書

昭和62年3月1日～昭和63年2月29日

(収入の部)

勘定科目	A予算額	B決算額	A-B差引
①本部交付金	611,000	611,000	0
②その他収入	0	5,743	△ 5,743
③前期繰越金	25,147	0	25,147
収入合計	636,147	616,743	19,404

(支出の部)

勘定科目	A予算額	B決算額	A-B差引
④会議費	70,000	50,300	19,700
⑤研究講演会費	150,000	150,000	0
⑥研究部会費	200,000	200,000	0
⑦通信費	150,000	125,490	24,510
⑧交通費	15,000	19,000	△ 4,000
⑨事務費	50,000	20,961	29,039
⑩予備費	1,147	0	1,147
計	636,147	565,751	70,396
⑪当期剰余金	0	50,992	△ 50,992
支出合計	636,147	616,743	19,404

(2) 貸借対照表 昭和63年2月29日現在

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
銀行預金	76,139	前期繰越金	25,147
		当期剰余金	50,992
総合計	76,139	総合計	76,139

3. 昭和63年度事業計画

(1) 総会の開催

日時：昭和63年4月23日

場所：大阪国際サイエンスクラブ

記念講演

- 1) 講師 坂口 実氏 (大阪大学基礎工学部教授)
演題 「Infinite CSP (古典的秘書問題) をめぐって」
- 2) 講師 辻 新六氏 (神戸商科大学)
演題 「パソコンによるアンケート調査支援システム」第2回OR学会事例研究奨励賞ソフトウェア部門賞受賞 (辻 新六・井内善臣・有馬昌宏・多井 剛氏の共同研究)

(2) 支部大会の開催

支部長が支部大会の開催を必要と判断したとき、運営委員会と相談の上開催する。

(3) 支部研究講演会の開催

年間5回を予定し、担当主査は、各研究部会の主査が担当する。

(4) 研究部会の開催

- 1) 決定理論とその応用研究部会
- 2) 最適化とその周辺研究部会
- 3) 確率・統計の応用研究部会
- 4) 情報検索とOR研究部会

5) 関西政策科学研究部会 (仮称)

(5) 見学会開催の件

適当な見学先があれば開催する。

4. 昭和63年度予算

昭和63年3月1日～昭和64年2月28日 (単位：円)

勘定科目	63年度予算案	62年度予算	備考
(収入の部)			
本部交付金	692,000	611,000	81,000 増
前期繰越金	76,139	25,147	50,992 増
収入合計	768,139	636,147	131,992 基
(支出の部)			
会議費	70,000	70,000	総会、運営委員会
研究講演会費	200,000	150,000	20,000×10名
研究部会費	250,000	200,000	50,000×5部会
見学会費	5,000	0	見学会運営費
通信費	170,000	150,000	24,000×7回他
交通費	20,000	15,000	1,000×20名
事務費	50,000	50,000	事務消耗品など
予備費	3,139	1,147	運営準備金
支出合計	768,139	636,147	

5. 昭和63年度関西支部役員

支部長 中道 博

副支部長 青沼龍雄

監事 長尾 卯, 木内佳市

運営委員 茨木俊秀, 西尾章治郎, 木瀬 洋, 福嶋雅夫, 長谷川利治, 中井暉久, 太田 宏, 太田拓男, 田畑吉雄, 石井博昭, 辻 新六, 藤井 進, 中山弘隆, 塩出省吾, 寺岡義伸, 徳山博子, 中野友次, 植野和文

参考文献の追加依頼のお知らせ

本誌5月号に収録の「生産システム設計のための待行列モデル」の著者山崎源治, 逆瀬川浩孝氏より, p.215 右欄下9行～p.216 左欄上4行の記述に関して,

人見勝人著「生産システム工学」, 共立出版, p.167, p.169 (1975)

を参考としたことを記載してほしいとの依頼が著者からありましたのでお知らせします。